

# 水環境いばらき

社団法人 茨城県水質保全協会

平成24年 2月1日

会報  
第14号

MIZUKANKYOU IBARAKI

## 謹賀新年

平成24年1月25日



理事長 安齊 猛男

新年明けましておめでとうございます。

協会の皆様には、さわやかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は協会の運営にご協力をいただいております事に、深く感謝いたしますと共に、本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、過去に経験の無い未曾有の「東日本大震災」被災により日本経済が大混乱を来し、国家的な非常事態に直面致しました。震災以来10ヶ月を迎えて漸く本格的な復興に向けて動きだしましたが、なかなか政治情勢が即応出来ない感があり残念でございます。

私共の協会においては、従来の事務所が大規模被災で半壊状態となりましたが、茨城県の好意により旧公害技術センターの建物を一時的に借用させて戴き事業の継続には支障無きを得ました。移転に関わりました期間、会員の皆様にはご迷惑とご不自由をお掛け致しました。

また「第25回全国浄化槽技術研究集会」は、当協会始まって以来の最大のイベントだけに、水質保全協会の名に懸けて、県内外の関係者（行政機関、関係業界団体、研究機関）にアピールする事と、県民から協会の事業にご理解を深めて戴く絶好の機会と捉え、実行委員会を中心に協会役員並びに会員皆様の全面的なご協力とご奉仕を戴きまして、お陰様で好評のうちに終了する事が出来ました。関係者の皆様に改めて心からお礼申し上げます。

新年を迎えて、一昨年より進めて参りました公益社団法人の移行に向けた様々な問題点の協議も、最終的な時期が迫って参りました。会員皆様の合意により新体制を発足する為にも理事会及び臨時総会の開催を早急に計画しておりますので、積極的なご参加をお願い致します。

また現在の仮事務所も借用期間が三年間の為、恒久的な新事務所の建設が必要な事から、昨年の第2回理事会に於いて建設委員会（特別委員会）を発足し、現在企画立案並びに推進を鋭意進めているところでございます。

これが具体的に成りますと、理事会並びに総会に於いて議決の上本格的な事業に取りかかる運びと成りますので、併せてご理解とご協力をお願い申し上げます。

この様な課題を抱えておりますが、当協会は茨城県の浄化槽検査機関として唯一指定を戴いておりますので、法定検査受検率が20数%に留まっている事に、非常に大きな責任を感じております。

他県の法定検査受検率が90%以上のところを調べてみますと、設置当初より取組みがしっかりと徹底しており、またそれだけに住民の認識も順法精神に裏打ちされているようでございます。

協会では昨年より、当面50%目標の新業務システムが稼働し、より効率的な運用を進めておりますが、一括管理契約と県民センターのメンテナンスステップアップ事業とタイアップするなど、あらゆる機会を捉えて受検率アップのために一層の努力をして参りますので、会員の皆様には浄化槽管理者と地元市町村自治体の接触を通じて情報提供を図って戴き、所期の目的の達成に是非ともご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、今年の干支は辰でございます。会員の皆様には“竜が天に昇る”運氣上昇の勢いを借りて、この一年が良き年でありますよう心からご祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

## 第25回全国浄化槽技術研究集会開催

～10月12・13日の両日第25回全国浄化槽技術研究集会が土浦市で行われる～

去る平成23年10月12日及び13日の2日間に亘り(財)日本環境整備教育センター主催の第25回全国浄化槽技術研究集会が土浦市民会館及びラ・フォレスト・ディ・マニフィカを会場として行われました。

この研究集会は、浄化槽に関する技術の向上と適正な普及促進を図ることを目的に、昭和62年より「浄化槽の日(10月1日)」の関連行事として毎年開催されているもので、今年度は土浦市を開催都市として全国各地から浄化槽技術研究会会員、大学・研究機関の浄化槽研究者、浄化槽行政担当者、浄化槽業界関係者約1,000名が集い、浄化槽に関する研究発表・事例発表及び特別講演などを通して最新の情報を入手し、また意見交換することにより、水環境の保全に寄与し快適な生活環境を創造する一助となることが期待されます。



- 開催期間 10月12日(水)～13日(木)の2日間
- 開催場所 1日目(12日)全国技術研究集会 土浦市民会館  
2日目(13日)研究発表会 ラ・フォレスト・ディ・マニフィカ
- 主催 財団法人日本環境整備教育センター
- 後援 環境省、国土交通省、農林水産省、茨城県  
土浦市、「浄化槽の日」実行委員会  
全国浄化槽推進市町村協議会
- 協賛 社団法人全国浄化槽団体連合会  
全国環境整備事業協同組合連合会  
日本環境保全協会、全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会  
社団法人全国浄化槽団体連合会関東支部  
浄化槽指定検査機関関東甲信越ブロック協議会、社団法人茨城県水質保全協会



当協会は、開催県の浄化槽団体として全面的に支援するため、昨年度平成22年7月に第25回全国浄化槽技術研究集会実行委員会を立ち上げて準備を開始しました。

今年度に入ってから、全会員に協力を要請したところ、当日の支援スタッフに47名、一般参加に94名の方が快く協力を申し出ただき、これを実行委員会の委員を中心に支援組織にまとめ、お陰様で研究集会を成功裡に終了することができました。大変お忙しい中協力いただきました皆様方には改めまして感謝申し上げます。



なお、終了後も研究集会の運営について各方面からお褒めの言葉をいただいております、協力いただいた皆様方のおもてなしの心に対する称賛の言葉と職員一同誇らしく受け止めております。

## 平成23年度 第25回全国浄化槽技術研究集会 出席者数

	出席者内訳		出席者数
来賓	中央官庁・理事等	16	169名
	茨城県内行政	51	
	茨城協会・関係団体	44	
	全国関係団体・他	58	
行政担当者	都道府県・政令市	76	150名
	市町村・他	21	
	茨城県	53	
	土浦市		
	茨城県内市町村		
全国関係団体	全 浄 連	65	473名
	環 整 連	55	
	日 環 保	45	
	環 境 連	35	
	指定検査機関	213	
	そ の 他	60	
そ の 他	報道関係		60名
	会員・一般・メーカー他		
茨城県内関係	協会会員	154	154名
	関係団体		
合 計			1,006名

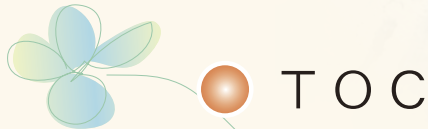
全浄連＝社団法人全国浄化槽団体連合会

環整連＝全国環境整備事業協同組合連合会

日環保＝日本環境保全協会

環境連＝全国一般廃棄物環境整備協同組合連合会

## 浄化槽 一口メモ



TOCとは、水中に存在する有機物質に含まれる炭素の総量を表す指標で、総有機炭素のことである。

BODやCODとともに有機物質による汚濁の程度を表す指標として用いられており、水中のあらゆる有機物質を燃焼法あるいは湿式酸化法(高温、高圧の条件下で行う有機物質の水中での酸化分解)により、ほぼ完全に二酸化炭素に分解し、その濃度を測定して有機物質総量を表す。

### 協会案内図



徒歩

JR赤塚駅北口  
徒歩 20分

バス

JR赤塚駅北口から  
石川二丁目下車  
徒歩5分

茨城県知事指定浄化槽検査機関

**社団法人 茨城県水質保全協会**

新住所 〒310-0905 茨城県水戸市石川1-4043-8

総務部 TEL.029-291-4000 FAX.029-309-5005

検査部 TEL.029-291-4004 FAX.029-309-5006

ホームページ <http://www.e-mizu-ibaraki.com/>

### 協会の業務案内

#### 総務部

- 浄化槽に係る広報及び啓発
- 浄化槽の機能保証事業
- 設置届出書、保守点検及び清掃カード等の図書類販売

#### 検査部

- 浄化槽の法定検査
- 水質保全に関する教育指導
- 浄化槽の設計施工及び維持管理に関する指導
- 技術的相談業務
- 各種調査、試験